

生活権か、法律が優先か

道路に居座る露店の対策協議

三年越し、四年越し問題となつてきた小名濱駅前道路にパン居する露店商の移転問題が同路線舗装工事の施工で井上正氏二〇軒の店が縣有地に移転したため同地管理者である小名濱港務所では驚き、その處置をめぐり関係各官庁と露店を招き、十四日午前十一時から市役所會議室に協議會を開いた

舗装工事で縣有敷地へ

陳入者にあつてたのが港務所

同露店は昭和二十五年頃サ 今回の道路舗装工事に立のンマ好漁の波に乗つてつぎを余儀なくされ、辰見町の間にか魚市場附近の道路地内の縣有敷地道路上上に立ち並び果物、酒類を、店を張り出した、販賣しはじめ、その数が一、管理者の小名濱港務所時は三十軒に達したので驚き出し、今度の協議會當時の小名濱港務所は公衆開催となつたもので、同會衛生上、建築法違反でも協議には道路交通上から警察り、また警察當局は道路交 消防上から消防署、公衆衛通法違反で立のきを要求し 生上から保健所、市衛生課たがまたいつとはなしに小 道路管理者として市土木課名浜駅前に移轉したまゝ生 などが参集し、それらの職鈴木松太郎(73)方前で、二斗五升のシウチュウに營業し、再々の警告にも 露店の扱いについて意見(山弘40)に職務質問を行なウ、鈴木を酒税法違反で動じなかつたものであるが交換する事になるが、

押入からドブ一石

昨夕小名濱で密造酒摘發

一三日午後五時三十分頃警つていたので、鈴木方を案城署員が市内西一四九四無宅捜査し一石一斗のドブロ職鈴木松太郎(73)方前で、二斗五升のシウチュウ同市泉字横町無職朝鮮人徳ウ他製造器具一式をオウシ同市泉字横町無職朝鮮人徳ウ他製造器具一式をオウシ同市泉字横町無職朝鮮人徳ウ他製造器具一式をオウシ同市泉字横町無職朝鮮人徳ウ他製造器具一式をオウシ

池田智恵子の獨唱會

ピアノ伴奏は關原和子

小名高吉例の音楽會十八日に開く

縣立小名濱高校(校長大竹 貞治)同校家庭クラブ(會長阿部栄子)主催の恒例行「セルナーデ」トステイ事として例年校外にも大きな文化的意義を残して來た音楽會は今年も池田智恵子とピアノの關原和子を招き、獨唱會を十八日午後一時から同校講堂で開催する事に、期待を集めてゐる

共に注目の新進

池田、關原の横がお

十八日の小名濱音楽會で同年の音楽コンクールに招かれて獨唱する池田智恵子、一躍新進の注目を浴び、更に二回のリサイタルを東京で開き、非常な好評を得て今後の精進に期待されている

一方、關原和子も池田さんと同級で二年東京音楽学校研究科を卒業後野辺勝久氏に師事し、ナで三回のリサイタルを東京で開き、非常な好評を得て今後の精進に期待されている

ば許される行為か、あくまでも法が優先し、法のもとに生活する事が正しいか、各地によくあるケースの裁定としてその結果は注目されている



小名濱カトリック教會、導師、横尾重信氏は十四日警城市福祉事務所を訪れ、同教會が恒例として行つてゐる生活に困つてゐる家庭に児童を招待してのクリスマス会を今年も開催するに、招待児童五〇名の選定を依頼した

教會でクリスマス

小名濱カトリック教會、導師、横尾重信氏は十四日警城市福祉事務所を訪れ、同教會が恒例として行つてゐる生活に困つてゐる家庭に児童を招待してのクリスマス会を今年も開催するに、招待児童五〇名の選定を依頼した

内 一般外科科
性 性病科
腔 門科
放 科線科
草野醫院
(入院隨意)
警城市中島
電話九九番

第一回警市内学生書道展課題

あかるい心
平和のいずみ
新しい第一歩
学者如登山
梅花笑我来遲

用紙(寸法)タテ二一センチ、ヨコ三三センチ
市内各文具店にあり

警城市福祉事務所では警察扶助の圓滑な運営を期すために十五日午後一時から市役所大會議室で市内醫師と警察扶助連絡協議會を結成することになった

協 議 會
魚菜市況
小名濱中央青果市場
卵八一〜二ねぎ四〇〜一
玉ねぎ一八〇〜一九〇人參
三〇七〜三〇七ごほう五〇〜
一〇ばれいしよ七〇〜七八
さつま三六〜六〇さといも
一二五〜一四〇大根五〜三
五ホーレン草四〇〜八〇玉
月結成されてあり、醫生活
な二〇〜三〇白菜一七〜
五へらら七〜一五

天 氣 豫 報
本日(北西)の一時や、強く晴時々曇りの天気でしょう海上風なみはやや高い見込みですから小型船舶は注意して下さい

町民の皆様にお願ひ
地方税の改正で町政の収入にたばこ消費税が来年四月より生れました。皆さんは新聞、ラジオで御承知、思ひますがまだ、皆さんの間で他の町村の店よりたばこを買って見受けられますので町財政の困難の折柄町民の全員が町内の小賣商店より買う事に特別御協力をお願い致します。

地 賣
警城市古港地區
住宅地五〇〇坪
格安分讓
警城市古港一九二 電話八五四番

故久保田眞儀葬送の際には御多用中の遠路態々御会葬下され且御鄭重なる御香料を賜り御芳情誠に有難う御座いました早速參上御禮申上ぐべき處器儀乍ら紙上を以つて御禮申上げます
昭和廿九年十二月十四日
警城市下横町
施 主 久保田 眞
親戚代表 赤 野 谷 大 一 眞
岡 野 元 吉 郎
秋 野 元 正 吉 郎
水 野 元 正 吉 郎
他 親 戚 政 次 同 郎

浪江町長 間馬 経 義